

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 4 回		
事 務 局	公民館貫井北分館		
開 催 日 時	平成 2 7 年 9 月 1 日 (火) 午前 1 0 時から正午		
開 催 場 所	公民館貫井北分館 学習室D		
出 席 委 員	小川委員、吉田委員、若井委員		
欠 席 委 員	師岡委員		
事 務 局 員	村山分館長、伊藤副分館長、野津、星		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>① 第 2 回貫井北センターまつり</p> <p>② 成人学校 地域研究について</p> <p>③ 成人学校 2 0 代 3 0 代向けの講座について</p> <p>④ 高齢者学級 はなみずき学級 野外研修について</p> <p>⑤ 成人学校 子育て支援講座 家事道に学ぶについて</p> <p>⑥ 成人学校 子育て支援講座 声のチカラについて</p> <p>⑦ 文化・芸術活動 陶芸入門教室について</p> <p>2 審議事項</p> <p>① 若者コーナー 世代間交流の推進 きたまちキッチンについて</p> <p>3 その他</p> <p>① 第 2 3 期企画実行委員の欠員にかかる追加募集について</p> <p>② 次回第 1 5 回企画実行委員会議 1 0 月 6 日 (木) 午後 1 時から</p>		

会議内容

1 報告事項

吉田：第2回貫井北センターまつりの報告をお願いします。

村山：9月13日（日）午前10時から正午まで、実行委員会を開きます。その次は12月6日（日）を予定しています。今の時点での申し込みは、展示5団体、音楽3団体、ダンス2団体です。去年の団体と新規の団体があります。

吉田：地域研究の報告をお願いします。

野津：これまでも実行委員会で案を考えてきましたが、10月21日（水）午前10時から地域研究準備会を開きます。10月1日号市報で募集します。

小川：テーマはこの辺りの地域の歴史についてですか？

野津：歴史に限らず、この地域のことをいろいろな方に意見をいただきながら考えたいと思います。

吉田：20代30代向けの講座の報告をお願いします。

村山：20代の世代の方と話しあいをしたいと思います。9月2日に打ち合わせをする予定です。

吉田：はなみずき学級についての報告をお願いします。

野津：10月3日の野外研修・皇居については予約がとれました。11月10日の野外研修・三溪園は、みどり号がとれなかったので、民間のバスを予約しました。三溪園と昼食場所の予約が取れました。9月15日に実踏に出かけます。12月8日の国際交流は、講師を選定中です。

吉田：子育て支援講座 家事道に学ぶについて、報告をお願いします。

星：3回で構成した講座が終了しました。家計管理、掃除、ネットワーク活用という視点で、家事を探りました。講師が家事を専門化してだったので説得力がありました。

小川：講師の言葉「世の中を変えていきたいという親の姿勢を子どもに見せる」というところが子育てに参考になると思いました。

吉田：予算の立て方、毎日10秒掃除、働き方や世の中と

の関わり合いの多様性など、それぞれに勉強になりました。声のチカラの報告をお願いします。

星：2月の子育て支援講座では、本を通して親子のかかわりを見直す講座です。読み聞かせを取り上げます。
野津：資料ではタイトルと内容の関連性が捉えにくいようです。

星：もっとよく伝わるように考え直します。

小川：人数は20人ですか？

星：講師の先生と朗読の練習をします。参加者同士の対話もお願いしており、適切な人数だと思います。

吉田：陶芸入門教室の報告をお願いします。

村山：定員16人のところ、参加者は4人でした。広報はつくしました。一方で、先生が手厚く指導し、受講者と語らいながら、陶芸の面白さや技術、人生の先輩としての助言を伝えていました。作品はダイナミックなものに仕上がりました。

吉田：連続講座の難しさというか、参加者の気持ちの表現や対応の仕方に課題を感じました。先生と2時間、じっくりと取り組める良い機会でした。

村山：今回は若い人向けだったので、思い切ったデザインにチャレンジしたのですが、先生としては「自分で作って、それを自分で使ってみる。いろいろな場所に行った時に陶芸を意識して地域や伝統文化を感じてほしい。」とアドバイスしていました。

吉田：先生の個展もありますので、そちらにも行ってみたいと思います。

2 審議事項

吉田：きたまちキッチンについて、お願いします。

伊藤：昨年度開催したきたまちキッチンの課題を反映し、対象を若者から親子に変更して、親子料理教室にしたいと思います。理由は、若者の応募が少ないこと、急な欠席者が出ると材料費の回収が難しくなること、親子にすると学校とは異なる地域や多世代交流

による学びが実現できることです。

吉田：子どもの年齢を限定しますか？

野津：年齢をはずしたらどうでしょうか？

若井：年齢をはずして、申込みの時に個別に対応してはいかがですか？

伊藤：まずは親子ということで募集し、応募者の様子を伺いながら個別に対応を考えたいと思います。

3 その他

吉田：第23期企画実行委員の欠員にかかる追加募集について、説明をお願いします。

村山：現段階では、企画実行委員5人のところ、1人欠員の4人の体制です。追加募集をするなら10月1日号市報公募、1月ごろに合流する頃合いになります。任期が7月までの半年間のため、全員で5人体制か、4人体制下の決を採りたいと思います。

小川：何か半年間でやるべきことはありますか？

野津：平成28年度の企画を考えます。

村山：それでは決を採ります（全員による挙手で採決）。それでは、4人体制で継続し、任期満了をもって5人体制といたします。引き続き、ご協力とご支援をお願いいたします。

吉田：次回第15回企画実行委員会議は、10月6日（木）午前10時からです。